

第 11 回せいい看護学会学術集会 ご案内

テーマ 「ダイバーシティマネジメント～看護の未来を拓く～」

学術集会会長 森本俊子
(社会福祉法人 聖隷福祉事業団
総合病院 聖隷浜松病院 総看護部長)

ダイバーシティとは、“多様性”と和訳されます。多様性を一言で表わすには難しいことですが、私は「全ての個人が多様な存在であり異なっていること」と捉えています。私たちが「みんなちがっていること」を真に理解し、「みんないい」と尊重し調和していくことが大切です。

看護の対象である人は多様な民族、文化、宗教、習慣、性別、年齢など個人の持つあらゆる属性があります。地域包括ケアの推進により、看護職は、あらゆる場に多様な事柄にも対応しながら人々が安全・安心に暮らす事が出来るように、フレキシブルに臨床実践をすることが求められています。また、看護職は保健師、助産師、看護師、准看護師という職能に加えて、各看護領域のスペシャリストである認定看護師、専門看護師を育成し、看護師の役割拡大となる特定行為研修を修了した看護師、診療看護師の育成が急がれています。

今大会では、多様な価値観をもつ人々の暮らしを守り支えるために、それぞれの役割を持つ看護職がどのようにして新たな価値を人々と共に創造し協働していくのか等、看護の未来を拓いていく足がかりをみんなで考えてみたいと思います。多様性を受け入れ活かすことについて参加者全員で、多いに語り、楽しんでディスカッションしましょう。

記

- ◆日 時：2020年9月19日(土) 9時40分～16時30分
- ◆場 所：社会福祉法人 聖隷福祉事業団
総合病院 聖隷浜松病院 大会議室(医局管理棟 B1F)

<プログラム予定>

- ◆会長講演
「みんなちがって、みんないい!～多様な価値観に寄り添うダイバーシティマネジメント～」
森本俊子(社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷浜松病院 総看護部長)
- ◆基調講演 「多様性を活かし、看護の未来を拓く」
エクランド 源稚子
(Pediatrics Medical Group Of Tennessee 新生児ナースプラクティショナー)
- ◆シンポジウム「多様性を活かす人材育成と人材活用」
岡 俊明 (社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷浜松病院 院長)
鎌田 裕子(社会福祉法人 聖隷福祉事業団 理事・常務執行役員)
津島 準子(公立森町病院 副院長兼看護部長)
- ◆ランチョンセミナー 「企業における、多様な人材育成と人材活用」
プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン株式会社 (P&G)